

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 清幸会	代表者	池田香織	法人・ 事業所 の特徴	さくら荘は民家改修型で、家庭的で温かみを感じられる施設です。自宅にいるのと変わらない落ち着いた場所を提供し、快適に過ごして頂ける支援を重視しています。清幸会の使命である「介護を求める、多くの人達を援助する」を念頭に置き、心のこもったサービスを提供できるよう日々取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さくら荘	管理者	村山和恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者に変化がある度に個別介護計画の見直しを行い、ミーティングの中で周知することにより常に最新の情報でケアにあたる。	利用者様とのコミュニケーションの中で得た情報を、毎日のミーティング等で職員間で情報を共有し、その都度個別介護計画の見直しを行う事が出来、ケアに繋げる事が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは立場や職種が異なるため、それぞれの視点があるのではないかと。どの立場・職種からの意見なのか分かりにくい。そのため具体的な取り組みがどの程度行われているか不明。(3に対して) ・上記同様。大まかな計画があり具体性は見えにくい。(4に対して) ・反省点を踏まえて分析して評価していると感じた。 ・事業所自己評価に取り組んでいる事が伺える。 ・自己反省に立っている所は評価出来る。ただ地域との交流等を問題視しているわりに具体的な取り組みがよく分からない。 ・上記同様。今後も新たな感染症等で施設の活動が制限される場面は考えられる。経験を整理しマニュアルを作成し間接的な関りも含めて計画立案する必要あり。各種職種としての取り組みを検討してみてもどうか。 ・達成可能な計画になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員によって経験や能力にどうしても差が出来てしまうが、その差を少しでもなくすため、ミーティング等の機会を多く作り、意識の統一を図る。 ・利用者様とのコミュニケーションを密にし、そこで得られた情報や変化等を職員間で情報共有し、より良い支援に繋げられるようにする。

			<ul style="list-style-type: none"> ・何とか出来ているが全体の割合として多く、よく出来ているよりもあまり出来ていないとの合計がいように見られる。職員が支援実施に迷っている要因分析が必要ではないか ・大多数の人が達成できていると思われる。 	
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き防寒対策とプライバシー確保に努める。北向きに廊下は暖房器具を設置する等、温度差に配慮する。例年通り、畑や花壇の整備を行う。	北向きに廊下に新たに設置したエアコンを活用する事により快適な環境を提供する事が出来た。また2か所のトイレに関して、利用者だけでなく職員がスムーズに動けたり、気持ちよく仕事に取り組む事ができるように、物品を置く棚を、使用しやすいラックに変えるなど、環境を整える事が出来、併せて整理整頓をする良い機会にもなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活空間立ち入る事があまりないため、見える範囲においては問題ないと思われる。 ・事業所は良い環境下にあると思う。 ・玄関を開けると常にスタッフがいるので安心です。外からも見えて良いです。 ・見える範囲内では問題ないと思われる。 ・引き続き防寒対策等を継続し、環境を整えるようお願いします。 ・外側から見ている範囲では問題は感じない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様にとって居心地が良く安心して過ごす事が出来る環境を作る事はもちろん、職員にとっても働きやすく、気持ちよく仕事ができるように工夫しながら環境を整えていく。 ・畑や花壇の整備を行い、利用者様の季節を感じて頂けるようにする。 ・各居室担当の役割を明確にすると共に、担当者が責任をもって快適な生活環境を整えるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き隣接する黒磯公園の散策やイベントの参加を行い、地域資源を絶たない様に支援を行う。	コロナウイルス感染症の影響により、地域と関わりを持つ事が難しい状況ではあったが、地域の方に鉢植えを提供して頂き屋外で一緒に楽しむ事ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの相談は、職員さんの気持ちがとても良いので話しやすいです。 ・地域のイベントへの参加はコロナ禍で難しいと思う。 ・地域資源を絶やさない支援の具体性が分かりにくい。 ・地域との交流の前に、PR、普段の様子等、広報や回覧版等を利用してはどうか。特別なイベント等は負担にならない程度で、日常的な交流の場を考えてみては。 ・コロナにより地域との連携が取 	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を構築できるように、送迎や訪問の際は、明るく挨拶したり、声を掛けたりと、話しかけやすい雰囲気振舞うようにする。 ・事業所を地域の方へもっと知って頂けるように、パンフレットを配布する等、PR活動を行っていく。

			りにくい状況と思われませんが、関係に構築を引き続きお願い致します。 <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか参加できるようなイベントが少ないと思う。 ・移動販売、有償ボランティア、自治会等地域資源は多くあり、サービス利用以外の時間をどのように繋ぐかが資源の利用であり、場所だけでも人だけでも情報だけでなく広く把握する必要があるのではないか。 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	支援の時間に縛りがない小規模の特徴を生かして、柔軟な対応で利用者の生活を支えていく。その為に地域住民と施設間で情報共有と連絡体制を整える。	利用者様に対して、それぞれが必要としている支援を考え、提供する事が出来た。また、見直しが必要となった際は速やかに違った支援方法を考え、提供する事が出来た。また新規に相談を頂いた際はタイムロスにならないようにスピーディーに進める事が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・1→「はい」が2名いらっしゃるのが、質問の捉え方でしょうか。 ・個人情報の取り扱いと踏まえて具体的な共有方法や体制が不明。 ・コロナの影響により地域との関わりが難しいと思われませんが、近所の方への挨拶等を継続して行って下さい。 ・申し訳ございませんが、テーマの趣旨がよく理解できません。 ・感染対策を前提とした方法や体制を整備する事で具体的計画が出来るのでは。施設内外の蔓延防止策と共有方法は分けて検討する必要あり。 	支援の時間に縛りがない小規模の特徴を生かして、柔軟な対応で利用者の生活を支えていく。その為に地域住民と施設間で情報共有と連絡体制を整える。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き、運営推進会議の中で得た地域の問題や情報に関しては、地域包括支援センターと連絡を取り支援に繋げていけるように検討を行う。	昨年度に引き続き今年度もコロナウイルス感染症の影響により、書面での開催となったが、書面を通して連携を図る事ができた。	<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4に対して→会議での意見や対応が示されていないため不明。次回会議の際に、意見と対応を周知する必要があるのではないか。 ・会議では分かりやすく説明されていると思います。地域との連携も積極的に努力している様子が 	<p>運営推進会議では事業所内の実績、行事等の報告だけでなく、事業所で抱えている問題等を提示し、様々な意見やアドバイスを頂き、問題解決に繋げていけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進員の方から情報を頂けるように関係性を構築していき

			<p>分かります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 0 以外は設問の答えがほぼ分からないのではないか。設問の方に問題があるのではないか。 ・ 運営推進会議での地域との取り組みが不十分と思われる。 	<p>地域の状況を把握していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>引き続き、地域の防災計画に組み込んで頂き、火災防災時の避難訓練や避難経路のマップを作成して避難所までの避難訓練を行う。</p>	<p>避難訓練や通報訓練を行い、いざという時にどういう行動をすべきか、確認する事ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接訪問し見る機会がないため、計画書やマップを見ていない。運営会議推進会議が書面開催となっているため、分かる形で周知して頂きたい。 ・ 避難訓練等の実施の際に、自治会との連携を図っていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な避難訓練を行い、職員の防災に対する意識を高め、いざという時に落ち着いて行動できるよう訓練を重ねていく。 ・ 定期的な設備点検を怠らないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月27日(15~16時)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	12人	2人	0人	14人

前回の改善計画

初期支援に関しては、事前に個別計画を作成して大まかな方向性を決めて置き、十分な観察を行い見直しをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎日のミーティングや職員間の連絡ノートを通して、職員間で情報を共有する事が出来、結果サービス提供に役立てる事が出来た。また、職員同士話しやすい関係性作りを、心がける事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	1	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10	1	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
不安に思う事や疑問点があれば確認するように心がけている。介護で一番大切な事はコミュニケーションを取る事だと思うので、常に心掛けている。それにより、利用者が必要とする支援が出来ていると思う。またそれぞれに合った支援を提供する事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者への声掛けが不足していると思う事がある。利用者の意志よりも時間の効率を優先してしまう事がある。介助に慣れると注意力が欠けてしまう事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
引き続き、初期支援に関しては、事前に個別計画を作成して大まかな方向性を決めておき、十分な観察を行い見直ししていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 27 日 (15～16時)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	1人	14人

前回の改善計画
ケアプランの見方や解釈について、職員会議で研修を行い、全員がケアプランを理解できるようにする。

前回の改善計画に対する取り組み結果
新人の職員の入職もあったので、現職員を含め、もう一度ケアプランの見方をミーティング等で説明し所定の場所に置く事で、いつでも見やすい環境を整える事が出来たが、全職員が理解出来ていない。特に新人の職員に対しては、入職時のミーティング等で丁寧に説明すべきだと感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	7	2	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	3	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	3	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	3	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今利用者が出来る事を続けられるように心掛けている。「～したい。」を意識し、日々の関わりを行っている。利用者様に気持ちを察して支援出来るようにしている。積極的に関わり、利用者の環境が良くなるように自分で出来る事は行っていく。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員からしてもらい事が多く選択肢が提供出来ていないと感じる。慌ただしくなった時、つい利用者中心で考えられなくなってしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
引き続き、ケアプランの見方や解釈について、職員会議で研修を行い、全員がケアプランを理解できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 27 日 (15～16時)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画	引き続き朝夕の申し送りで利用者様の変化の情報共有を行う。個別に会話する機会を作り日常の会話の中から変化に気付けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コミュニケーションで得た情報を職員間で情報共有する事ができた。また、利用者様に対して傾聴する職員の姿が多く見られ、認知症の方の精神的安定に繋がったと感じる。改めてコミュニケーションの重要性を確認する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	11	2	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	9	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	7	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調や状況に合わせた食事形態の調整、身体介助を行っている。また排泄動作等も本人の能力に合わせて行っている。利用者様の生活歴を把握する事でより良いサービスに繋がると思うので常に把握するため、情報収集に心がけている。些細い変化でも気が付いたら直ぐに報告するように心掛けている。
---------------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員から得た情報を理解不十分なまま実行しようとしてしてしまう事がある。以前の暮らしを、把握出来ている利用者様と出来ていない利用者様がいる。
----------------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 引き続き朝夕の申し送りで利用者様の変化の情報共有を行う。個別に会話する機会を作り日常の会話の中から変化に気付けるようにする。
----------------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 27 日 (1 5 ~ 1 6 時)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画	地域の方と連携を取りながら住み慣れた環境を壊さない支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	これまで生活してきた中で構築してきた関係性を尊重しつつ、さくら荘としての関わりを考え支援する事が出来たと思う。また、安心して穏やかな気持ちで過ごす事が出来るように配慮する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	6	5	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	4	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	5	6	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	6	5	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用していない日の安否確認を行っている。情報シートだけでなく本人尋ね確認するようにしている。本人との会話や家族とのコミュニケーションから情報収集している。訪問の際や送迎の際に近所の方に会った場合は、挨拶したりと顔見知りの関係性になるように心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族以外の関係者の把握や、やり取りには関しては難しさを感じる事があり、業務の直接関係してこないと情報を得にくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き、地域の方と連携を取りながら住み慣れた環境を壊さない支援をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 27 日 (15～16時)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		できて きている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (記入人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	1人	0人	14人

前回の改善計画
 小規模の場合、地域資源を取り入れた支援は困難な部分もあるが、利用者様の生活環境や家族の希望を聞きながら柔軟な支援を提供する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者様だけでなくご家族との関係性を大切に、職員それぞれが、話しやすく親しみやすい関係性を作る事を意識しながら関わる事が出来た。それによって、より良い支援の繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		できて きている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (記入人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	7	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	5	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	7	3	0	14
④	その日、その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	3	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 迅速かつ柔軟に対応している。その日その時で変化を感じた場合は職員間で情報を共有し、本人の状態やニーズに合わせて柔軟に対応している。また家族から要望があると速やかに報告し、早期解決を心掛けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 新型コロナウイルス感染症のため、色々な事に制限が出てしまっているため、地域資源の活用は出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 小規模の場合、地域資源を取り入れた支援は困難な部分もあるが、利用者様の生活環境や家族の希望を聞きながら、引き続き、できる限り必要な支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月27日(15～16時)

6. 連携・協働

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	10人	2人	14人

前回の改善計画
新型コロナウイルスが落ち着き次第、積極的にボランティアを受け入れ、地域との連携を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、ボランティアの受け入れが出来なかったが、介護相談員さんとの月一回の電話のやり取りの中で、事業所の様子を伝える事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	5	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	0	12	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	0	12	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	0	14	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他事業所へ訪問し利用状況や登録者数状況を報告し、希望に応じて受け入れ等に対応している。また来荘者に対しては、丁寧な応対や、要件に対して細部までの聞き取りが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響から、ボランティア等の受け入れが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新型コロナウイルス感染症が落ち着き次第、積極的にボランティア等を受け入れ、地域連携を図り、利用者様にも楽しみの場を提供出来るようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月27日(15～16時)

7. 運営

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		全く できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	2人	3人	14人

前回の改善計画
職員に対して小規模多機能の利用の仕方や運営基準を教育する必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果
入職時のオリエンテーションの中で小規模多機能の施設としての役割や在り方について、説明する事が出来た。現職の職員に対しても、事あるごとに話しをし、理解、協力を得られるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		全く できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	12	1	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	0	1	13	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	3	7	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見等や苦情があれば、必ず上司に報告している。利用者様の不安や寂しさが少しでも軽減できるように傾聴する姿勢はとても大切だと思うので、常に心掛けている。また、些細な事でも環境改善のため良いと思う事は相談するようにしており、普段から職員同士言いやすい関係作りを心掛けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
業務内容の変更点については職員間の連絡ノートで周知されているが、確認が抜けてしまう事がある。コロナの影響で地域との関わりの機会を持つ事が出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
引き続き、職員に対して小規模多機能の利用の仕方や運営基準を教育する必要がある。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月27日(15～16時)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	1人	14人

前回の改善計画
出来るだけ多くの研修に参加させることが出来るよう職員配置を考える。また研修に行った職員が荘内で研修を行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
今年度も新型コロナウイルスの影響で外部研修に参加する事は出来なかった。内部研修に関しては、密にならないよう配慮しながら、行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	9	4	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	9	4	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	14	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	13	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
感染症の状況を踏まえ、その都度工夫しながら行う事が出来た。出来ない事は聞いたり、見たりして実践して覚えるようにしている。また会議を活用し、分からない事は質問し、知識を得るようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響から、外部研修は開催されず、参加の機会が減ってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
出来るだけ多くの研修に参加させることが出来るよう職員配置を考える。また研修に行った職員が荘内で研修を行えるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月27日(15~16時)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画
 身体拘束・虐待とは、どこまでなのかを職員全員が同じレベルで捉えることが出来るようにマニュアルなどを使った教育を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 新しく人職した職員に対しては、きちんとした機会を設けての説明が出来なかった。また現職の職員も理解していない職員がいると感じる場面があるので、改めて説明をする機会を作るべきだと感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	0	0	14
②	虐待は行われていない	14	0	0	0	14
③	プライバシーが守られている	8	6	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	0	0	0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	12	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 常に意識を高く業務に取り組んでいる。また言葉掛けに関しても、無意識に利用者の行動を制限したりしていないかを考えながら、発言するように心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 時折、自分の業務の都合で利用者の行動を制限するような行動・言葉掛けをしてしまう事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 引き続き、身体拘束・虐待とは、どこまでなのかを職員全員が同じレベルで捉えることが出来るようにマニュアルなどを使った教育を行っていく。